

先日は手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録でレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回12月の「てがたん」は12月10日(土)で「冬支度と1年のふりかえり」がテーマです。

ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

\*市民スタッフの方へ 次回のてがたん下見&打ち合わせは12月3日(土)です。よろしくお願いいたします。

## 11月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→親水広場→漁協前
- 観察日時/天気 2011年11月12日(土) 10:00~12:00 / 晴れ
- 参加者 17名
- 市民スタッフ 10名 (伊東茂子、蒲田知子、玄地昭八、須貝基康、染谷迪夫、竹本周平、古川克彌、松村定雄、水上香苗、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 2名 (齊藤安行、村松和行)

## 観察記録 — 11月に観察した生き物リスト—

### 【鳥類】

カイツブリ科：カンムリカイツブリ/サギ科：コサギ/カモ科：カルガモ、オナガガモ/タカ科：ミサゴ/クイナ科：オオバン/カモメ科：ユリカモメ、セグロカモメ/カワセミ科：カワセミ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/モズ科：モズ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/シジュウカラ科：シジュウカラ/ハタオリドリ科：スズメ/ムクドリ科：ムクドリ/カラス科：ハシブトガラス/外来種や家禽：コブハクチョウ、バリケン、ドバト

### 【両生類】ニホンアマガエル

### 【昆虫・クモ】

カメムシの仲間：ヨコヅナサシガメ/トンボの仲間：ナツアカネ、/甲虫の仲間：ナミテントウ/チョウの仲間：モンシロチョウ、モンキチョウ、ヒメアカタテハ、ヤマトシジミ、ウラナミシジミ、フクラスズメ(幼虫)/バッタの仲間：コバネイナゴ/クモの仲間：ジョロウグモ、ジガバチ(巣)

### 【花】

キク科：ハキダメギク、セイヨウタンポポ、ヒメジョオン、ハルジオン、カントウヨメナ、オオジシバリ、オニノゲシ、ノゲシ、セイタカアワダチソウ/カタバミ科：カタバミ/タデ科：オオイヌタデ/アカザ科：シロザ/カヤツリグサ科：カヤツリグサ/シソ科：ホトケノザ/マメ科：シロツメクサ/アカバナ科：アカバナユウゲショウ/アブラナ科：ナズナ、スカシタゴボウ、タネツケバナ/ムラサキ科：キュウリグサ/ゴマノハグサ科：トキワハゼ

# 11月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「秋の樹木ウォッチング」でした。親水広場にある木の樹皮や樹形、低木の生長の様子、常緑樹の葉などを観察しました。11月とは思えない暖かさの中、ひとつひとつの樹木をじっくり観察しました。漁協前ではオナガガモとカルガモ、オオバンなど水鳥を観察しました。



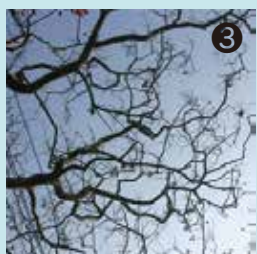
今月の案内人 伊東 茂子さん



① 高級な木材として古くから使われてきたコウヤマキ



② 赤く色づいたアメリカハナミズキの実



③ 効率よく光合成するために重ならないように伸びるサルスベリの枝



④ サルスベリの樹皮は薄く、こするとすぐに緑色の組織がみえる



⑤ 人工物のすき間でみつけたジガバチの巣

## 11月パンフレットの訂正

常緑樹の葉を紹介する部分に、メタセコイヤの写真が掲載されていましたが、メタセコイヤは常緑ではなく、落葉針葉樹でした。



11月てがたんの観察生物とルート

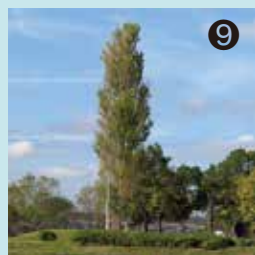


## クスノキの葉のダニ部屋

クスノキの葉は樟脳の香りがするので多くの虫は嫌いますが、葉に住んでいるダニがいます。これは共生でしょうか？寄生でしょうか？



⑩ 親水広場で見つけたスズメの水浴び



⑨ 遠くからでもよく目立つプラのほっそりとした樹形



⑧ 幹から真横に枝を出す形が特徴的なミズキ



⑦ 畑で見つけたシロザの花 他の植物たちのロゼットもたくさんありました



⑥ もう来春の準備？ユキヤナギの冬芽

## 今月の鳥 オナガガモ (カモ目カモ科)

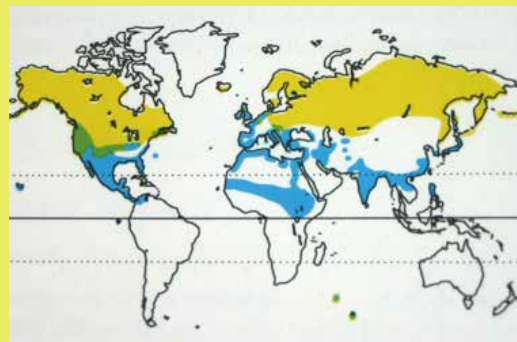
全長：♂61~76cm ♀51~57cm

### ●オナガガモの特徴

英語で Pintail(針の尾) とよばれるように、オスの長い尾羽が特徴で、この尾羽の長さのがオスとメスの全長の差にあらわれています。手賀沼に飛来するカモの中ではコガモとともに個体数が多く、前年度の水鳥調査では11月188個体、12月360個体、1月384個体、3月190個体が確認されています。



漁協前のオナガガモ



分布図の色 留鳥 夏鳥 冬鳥